

西原産の牛とふれあい ～西原町畜産共進会開催～

西原町の畜産振興の強化を図り、家畜の改良増殖、畜産経営の発展や生産振興を目的に、平成24年度西原町畜産共進会が、9月21日にあがりティータ公園で開催されました。

畜産共進会には12の農家から35頭が出品され、体格や肉付きなどの発育状況を審査しました。審査の結果、桃原栄一さん(字我謝)の出品した「せそんさま」号が西原町長賞を受賞しました。(各部門の優等賞は右の表を参照)

また、町内の幼稚園や保育園の園児が見学を訪れ、勢ぞろいした牛を見学。自分の身長よりも大きな牛を目の前に園児たちは驚きの表情を見せていました。

部門	褒章	出品者	名号
未經産候補	西原町農業委員会会長賞	新田 宗保	しげかつさ
若雌1類	西原町議会議長賞	園田 三郎	しげゆり
若雌2類	沖縄県農業協同組合 西原支店支店長賞	園田 三郎	よしみ
成雌1類	西原町長賞	桃原 栄一	せそんさま
成雌2類	沖縄県農業共済組合長賞	呉屋 秀信	はるしげ



～農業者年金に加入しませんか?～

1 農業に従事する方はだれでも加入できます。

国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事している方は、誰でも加入できます。農地を持っていない農業者や家族の方も加入できます。脱退も自由です。脱退しても一時金は支払われませんが、それまでに支払った保険料は将来、年金として受け取るようになります。

2 保険料は選択できます。

毎月の保険料は2万円を基本として、最高6万7千円まで、千円単位で選択できます。経済状況や老後の設計に応じて保険料を設定でき、いつでも見直すことができます。

3 80歳までの保障が付いた終身年金です。

年金は終身受給できますが、仮に加入者や受給者が80歳前になる前に亡くなった場合は、死亡した月の翌月から80歳までに受け取ると仮定した金額を、死亡一時金として遺族の方が受け取れます。

4 税制面でメリットがあります。

保険料は全額(年額最高80万4千円)社会保険料控除(所得控除)の対象となります。また、年金は公的年金等控除の対象となります。

5 意欲ある担い手に保険料控除があります。

60歳までに農業者年金に20年以上加入することが見込まれ、一定の条件を満たす方は、基本となる保険料2万円のうち、国から助成(政策支援)を受けることができます。

さらに詳しいことは農業者年金基金のホームページ(<http://www.nounen.go.jp/>)でもご覧になれます。

お問い合わせ

西原町農業委員会事務局 ☎945-5281
JAおきなわ西原支店 ☎945-5225

西原町まちづくり研究会7期生

まち研報告会 2012

とき 11月22日(木) 18:30 ところ いいあんべ一家(中央公民館隣)

西原町役場の職員が自主的に集い、西原町の課題を検証し、課題解決のための個性豊かな政策提言を目指す研究チーム「西原町まちづくり研究会」が、西原町のまちづくりの推進に向けた政策提言を行います。

【発表のメインテーマ】

- がんじゅうなまちづくり(健康づくりについて)
- Join 明日(us)へのまちづくり(一括交付金の活用と町民参画について)

【主催】西原町・西原町まちづくり研究会7期生

お問い合わせ：総務部企画財政課 ☎098-945-5340

西原から世界へ!!

バレーの山内さん&バスケットの川上さんが 日本代表に選出

西原高校3年の山内美咲さんが、10月にタイで開催されたアジアジュニア選手権大会に出場するジュニア(20歳以下)日本代表に選出されました。また同3年の川上麻莉亜さんが、9月末にマレーシアで開催された第21回FIBA ASIA U-18女子バスケットボール選手権大会に出場するU-18(18歳以下)日本代表に選出されました。

山内さんは女子バレーボール部の中心メンバーとして、センターで活躍。ジャンプの最高到達点が3mを超える全国屈指の高さと、スピード、パワーを生かした攻撃が武器で、関係者が「身体能力は九州で1番」と太鼓判を押す選手です。20歳以下のカテゴリとなるジュニア日本代表は大学生が中心の構成で、山内さんは1つ下のカテゴリからの選出になります。川上さんは身長172cmでガードのポジションを担う選手。オールラウンドなプレーで、女子バスケットボール部のエースとしてチームを引っ張り、県内外の大会で活躍しています。

大会を前に、山内さんは「西原高校の看板を背負い、それを自信にして、世界でも精一杯戦いたい。」と語り、川上さんは「自分の役割を果たし、県民の代表として力を発揮したい。」と強い決意を述べました。2人の快挙に上間町長は「日本を代表する選手に選ばれ、心からおめでとうを言いたい。西原町民にとっても大きな名誉で町を挙げて精一杯応援したい。」と激励しました。2人は大会前の国内合宿から日本代表に合流し、強化合宿を行ったのちに大会に参加。世界を相手にした活躍に期待が集まりました。



川上さん(左から3番目)が参加したU-18女子日本代表チームは、第21回FIBA ASIA U-18女子バスケットボール選手権大会で準優勝に輝き、来年のU-19女子バスケットボール世界選手権行きを決めました。また、山内さん(右から3番目)が参加したジュニア日本代表はアジアジュニア選手権大会で3位に輝き、来年の世界ジュニア女子選手権大会の出場権を獲得しました。山内さんは全試合でスタメン出場する活躍でした。

「いじめをなくそう!」人権集会で、 いじめについて考える

— 西原南小学校 —

いじめ問題が世間の関心を集める中、西原町でも各学校や地域で、いじめや人権について学び考える機会を設け、いじめの防止に努めています。

そんな中、西原南小学校(新島悟校長)では命や人権を尊重する心を育み、児童にいじめをしないことや優しい言葉づかいをすることの大切さを意識させることを目的に、9月26日に第2回人権集会が実施されました。

5月以来の実施となった今回の人権集会では、全学年の児童が3つに分かれて読み聞かせを実施。いじめについて描かれた絵本の読み聞かせを、児童たちは真剣なまなざしで見つめ、物語を聞き入っていました。

それに引き続き全校集会が行われ、夏休みに児童たちが考えてきた人権標語を紹介したり「ありがとう」「かんしゃします」を言う言葉の大切さを説明しました。新島校長は児童たちに「子どもでも大人でも、健康な人も体の不自由な人も、国や肌の色が違っていても、1人ひとりに尊い命があって、みんなが一生懸命幸せに生きる権利があります。」と話しました。



読み聞かせの本を熱心に見つめる児童



集会では人権について考えました。

花を育てて、思いやりの心を 身につけよう

— 坂田小学校 —

児童が協力して花を育てることで、人を思いやる心を身につけることを目的に、平成24年度人権啓発活動地域活性化事業の一環で「人権の花運動」が坂田小学校(呉屋正則校長)で実施され、10月1日に花の植付式が行われました。

植付式で上間町長は「児童一人ひとりの心に人権の花が根付き、花が咲き誇ることを願っています。」とあいさつし、児童会代表の友利萌果さんは「人権について学び、今以上に友達や家族を大切にしたいです。人権の花をたくさん咲かせたい。」と決意を述べました。

式では人権ソングとして「みんなすてき」を全校児童で合唱。元気いっぱいの歌に合わせて人権イメージキャラクターのまもるくんとあゆみちゃんがステージに登場すると、児童たちは大喜びでした。植付式では呉屋校長や上間町長などの来賓と児童の代表が、協力して花の苗をプランターに植付けました。植付けた花は児童が手分けして世話をし、12月ごろに咲く予定です。



心を込めて歌の合唱



みんなで仲よく植付作業